

陽の目をみなかつた若い人たちの学級が四〇も生れてきているという事実は、婦人のめざめを如実にあらわしているとも考えられる。またおくれればせながら婦人団体自体も小さな集団にきりかえようとする努力をつづけているし、その内容なども、行事中心のはなやかなものから、

学習中心にかえられつつあるという傾向は、今後ますます奨励されていいことである。
 じみではあるが、この婦人の学習があらゆる風波にたえつつ根づよくのびて、大きく社会をかえていく日のくることを期待している。

昭和三十二年度 重点を置く事業計画とその実施状況の概要

計 画 概 要	実 施 状 況
<p>○ 婦人指導者講習会 対象 婦人会、婦人学級の中堅幹部 内容 1 小委員会制度について 2 婦人学級の中でみられるカダグル 1 プ活動について 3 小集団活動のすすめ方について</p>	<p>安積、岩瀬、田村 8月13～14日 熱海町 西白、東白、石川 8月15～16日 白河市 耶麻、北会、両沼 8月20～21日 熱塩加納村 南会 8月22～23日 下郷町 相馬、双葉 8月27～28日 相馬市 石城 8月29～30日 磐城市 信夫、安達、伊達 9月10～11日 飯坂町 信夫、安達、伊達 11月20～22日 福島市清水地区社会学級並びに飯坂町 北会、耶麻、両沼、南会 11月25～27日 塩川町姥堂婦人学級並びに熱塩加納村 石川、東白、西白、安積、田村、岩瀬 11月28～30日 双葉、石城、相馬 12月10～12日 浪江町苅野婦人学級浪江町</p>
<p>社会教育指導者の養成 ○ 婦人学級研究集会 対象 市町村教委社会教育係 公民館主事、婦人学級を指導する学校の先生 内容 1 文部省委嘱婦人学級の学習状況 参観 2 社会教育講座と婦人学級 3 学級の企画、運営、指導者について</p>	

第五節 文化活動をどう進めたか

〃 青少年の音楽、演劇、文学などの文化活動を活発にしていこう〃

〃 住民の芸術その他の文化サークル活動を助長していこう〃

こういふ努力目標をかかげた三十二年度県教委の芸術文化関係の足跡は、果してどれだけの目標への接近がみられたろう。

(一) 努力目標は、要すれば、地教委、公民館が中心となって地域の芸術に志す人や団体を育成し、また、彼らが住民の芸術への関心・理解を深め拡めるよう努めてほしい、ということであった。

芸術というものが、なにか高踏的な特殊な階級のもてあそびの中にしか生れないような考え方は、依然として強い。

そうではなく、芸術が大家の中にあつて生れ栄えるような、そしてそれが教育活動の中で展開されていくような方向を、三十二年度に期待したわけである。

そのために、県内くまなく芸術活動を盛りあげていくためには、一つには、地教委の公民館などが中心となって地域の芸術団体の助成をこころみてほしいということと、もう一つは、何よりも青年たちの間に、芸術を愛する芽を育ててほしいというねがいであったのである。

さいわいに、県教委と各開催地教委との共催で行った県美展やその巡回展・移

動音楽会・演劇コンクールとその予選、青少年演劇研究発表会などは勿論、県内ほとんどの市町村に繰りひろげられている文化祭・芸術祭・美術展などが年一年とさかんになつてきていることは、地教委、公民館が地域住民への芸術文化振興のため手をさしひのべているあらわれと考へたい。

そしてさらに、それら文化祭が一つの市、一つの町で行われることの外に、さらに規模を大きくした形で二つの市町村が共同して芸術祭が催される契がみられた。また、もう一つは、地教委が単独で地域青年、一般のための芸術部門講座・指導養成講習会などを積極的に開きすすめてきたこと。

これらが特長的にいえる三十二年度の展開であつたと思われる。

ただ、教育関係にある者が、芸術の教育的意義とか、芸術と社会とか、青少年の芸術活動の重要性などについて、もっと関心と理解を深める必要があるという昨年度の問題は、やはり三十三年度にも引き継がざるを得ないのである。

(二) 努力目標に添って行った、県独自の事業は (1) すぐれたもの発見 (2) 指導者の養成 (3) 鑑賞機会の提供 (4) 資料の提供ということであった。
 (1) 年一度県内の芸術関係者の参加をもとめて、その研鑽の結果の発表を通し